「パパ♥言われたとおり提督を捕まえた、あたし偉い？」
「えへへ～♥パパの抱っこ好き♥」
「え…？大好きだった提督は気にならないのかって？」

「も～パパでも怒るよ…あたしが大好きなパパはパパだけだよ♥」
「あんな人はパパのフリしてた偽物だもん…あたし、あの人嫌い…！」
「ねえパパ？そんな事よりあたし、パパのために頑張った…ご褒美頂戴♥」

ポフッ

「んっ♥チュッ…チュッ…レロ、パパのキス好き…♥チュー…チュッ♥」
「パパ♥ベロ出して…♥んっ、んちゅ…ちゅぱ…♥れぇろ…れろれろ、レロッ…♥」
「ぷはぁ…パパのベロ、あったかくて美味しい…♥
ちゅ…ちゅっ、ちゅぱっ…ちゅ、ちゅ～…んちゅ♥」

「パパ…あたしパパとのキスで興奮してきちゃった…♥パパのおチンポ頂戴…♥」

「あっ、んんっ！ああんっ♥パパのおチンポきたぁ…♥大きくて暖かくて気持ちいい…♥」
「パパの温もりを体の中から感じられて嬉しい…♥」
「ねえパパ？あたしのおマンコは気持ちいい…？えへへ♪嬉しい…♥」
「待っててねパパ♥あたし頑張って動くから、一緒に気持ちよくなろ♥」
ん♡
ずぽんっ♡

「あんっ…ああんっ♥あっ、あっ…やあんっ♥
パパのおチンポ気持ちいい♥♥あぁんっ…あっ♥」
「はあ…はあ…お腹の奥、コツコツ突かれるの好きぃ…♥あっ、はあんっ♥」
「パパぁ～…キスして…んっ、ちゅっ、ちゅう…れろれろ～…♥んっ、んぁっ♥」
「ダメ…気持ちよすぎて、あたしイッちゃう！イクッ！イクゥウッ!!」
あっ♡
あん♡
ずちゅっ
ずちゅっ
ぐぽっ
ぐぽ
ぐぽ

「んやあああああぁぁぁぁぁんんっっ♥♥…はあっ…はあっ」
「ぐすっ…ごめんねパパ…パパがまだイッてないのにあたしだけイッちゃった…」
「気にしなくていい…？ありがと…パパ優しい♥」
「…うん、今度はちゃんとイカせれるように頑張るね…♥」
ぴくぴく
ぴくぴく
ぎゅっ♡
ぎゅっ♡

「パパにもっと興奮してもらえるように、パパの好きな格好になってあげるね♥」
「あたしもこっちの方が好き…♥こっちの方がパパのモノって気がして…♥」

「この格好も、この格好にしてくれたパパも大好き…♥」

「…どうパパ、興奮する？…えへへ、やった…♥」
「最初はなれなかったけど、今はこの体にぴっちり吸い付いてくる服もパパに抱きしめられてるみたいで好き…♥」
「提督もね、捕まえる時にあたしのおっぱいとかおマンコをジロジロ見てたの…気持ち悪いよね…」
「この格好はパパの為なのに…あたしのおっぱいもおマンコも好きに見て触っていいのはパパだけ…♥」
「パパ…もっともっと、あたしと気持ちよくなろ…♥」
プリュンっ♡
ボヨ
ボヨ

「また、すぐにイッちゃわないようにゆっくり動くね♥」
「んっ…んっ…♥あっ、んんっ…♥これ凄い…
ゆっくり動くとパパのおチンポの形がちゃんとわかる…♥」
「それにあたしのおマンコの中を優しく引っ掻いて
少しくすぐったいけど気持ちいい…♥」
「あっ…あぁんっ♥パパはどう？もっと刺激が強い方がいい？
…わかった、じゃあまた激しくするね…♥」
んっ♥
キュン♥
キュン

「あっ、あっ…ああんっ♥…いい！ゆっくり優しくするのもいいけど激しくするのも好きぃ…♥」
「はあっ…んんっ♥あたしのおマンコとパパのおチンポエッチな音がいっぱいなってる…♥」
「パパ♥パパァ…♥好きぃ…大好き♥あっああんっ♥またキスして…♥」
「ん～ちゅ…ちゅぱっ、ちゅ～…ん…ちゅぱっ！じゅずっ…じゅずず～♥」
「パパイキそう？…いいよ、あたしと一緒にイこ…♥
イクっ、イクっ！いっくううううううううっ♥」

ちゅぱっ
ちゅっ
やらっ
やらっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
すちゅ♡
すちゅ♡

「はあっ…はあっ…、暖かい…♥パパのせーし
あたしの赤ちゃんを作る部屋にいっぱい入ってきてる…♥」
「パパ…このまま赤ちゃん作ろ？…あたし、パパのママになりたい…♥」
「赤ちゃんが大きくなったら、あたしと一緒にパパにご奉仕をするの…♥」
「大丈夫…♥練習台は手に入ったから、きっとパパを満足させられるよ…♥」
びゅるる
ドプッ
びゅーーー